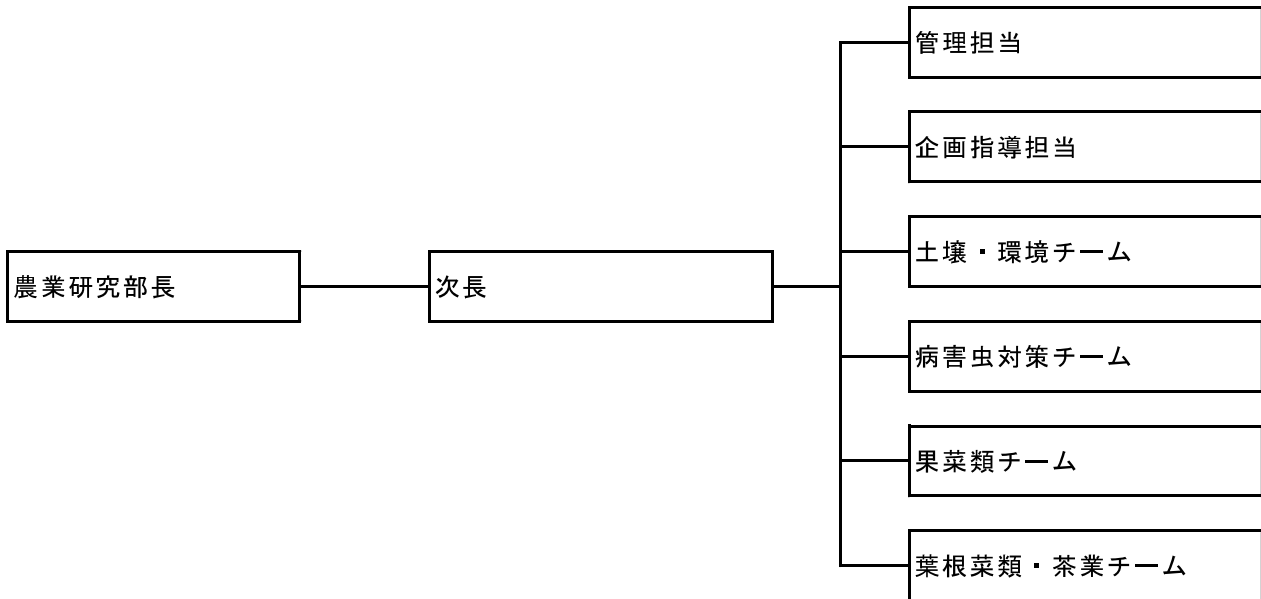


II 各研究部・グループの概要

II-1 農業研究部

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

平成31年4月26日現在

組織	職種	職員		技師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備考
		事務	技術						
部	長		1					1	
次	長	1						1	兼センター管理調整監
管	理	5						5	
企	画		7					7	広域普及指導員4名
土	壌		7		1			8	
病	害		9			1		10	
果	菜		9	2				11	
葉	根		6		1	1		8	
計		6	39	2	2	2	0	51	

（3）業務

主な業務

大分県農林水産試験研究基本指針に基づき、「The・おおいた」ブランドを確立するための産地づくりを技術面から支援する。研究課題の設定にあたり、県が推進する園芸戦略品目を中心に生産者や消費者・実需者のニーズを反映し生産現場に直結する栽培法や新品種を開発・改良・実証する。地域未利用資源の新たな活用方法や品質、収量の向上に加えて、省力化技術など課題を解決するための研究を行う。

企画指導担当

- ①生産者に対する研修および現地指導
- ②試験研究の企画調整、進行管理
- ③研究成果のとりまとめ、研究員の育成

土壌・環境チーム

- ①農産物の安全安心や環境に優しい農業生産技術の研究
- ②未利用資源の農業活用技術に関すること
- ③農産物の栄養・機能性成分の調査、分析に関すること
- ④肥料取締り分析と農業試験検査事務に係る分析
- ⑤IoTなど新技術を活用した野菜類栽培の省力化技術の確立

病虫害対策チーム

- ①IPMに基づいた病虫害防除技術の開発、実証
- ②難防除病虫害、農薬耐性菌・抵抗性害虫対策の組み立て
- ③主要農作物の病虫害発生予察に関すること
- ④国内未発生病害虫に関する植物検疫
- ⑤マイナー作物への適用農薬の登録推進

果菜類チーム

- ①トマトの周年安定生産技術の研究
- ②夏秋ピーマンの省力安定生産の研究
- ③イチゴ新品種の育成
- ④イチゴ経営体の規模拡大を可能にする新生産方式の開発
- ⑤パプリカの品質・収量向上のための現地実証

葉根菜類・茶業チーム

- ①根深ネギ、ニラ、カンショ、サトイモ等の栽培技術に関する研究
- ②カンショの品種選定、ウイルスフリー苗の供給
- ③茶の栽培および病虫害に関する研究
- ④茶の品種選定

2. 試験研究課題

農業研究部（1／3）

農業研究部				担当	連携	研究	予算
試験研究課題名				チーム	機関	期間	区分
I 大課題、 1 中課題 ・ 研究項目							
※「研究項目」以下の区分：1）、（1）、①							
I 構造改革を加速し、もうかる農林水産業を実現するための研究開発							
1 構造改革の更なる加速のための技術開発							
			いちごの大規模経営体を育成・支援するための技術開発				
	1)	イチゴ大規模経営体を支援・育成	果菜類 チーム	地域農業 振興課、 各振興局	H28～31	県単、一 部国庫	
			環境制御技術によるいちごの収量向上				
			施設葉菜類のハウス内環境制御技術の確立				
	1)	次世代型土壌水分センサーによる	土壌・環 境チーム	北部振興 局	H30～R02	県単	
			革新的な省力栽培技術の開発				
	1)	マルチコブターを活用した白ねぎ	土壌・環 境チーム	(株)KMT、 葉根菜 類・茶業 チーム	H31～ R03	県単	
	2)	労働力不足に対応した施設葉菜類	葉根菜 類・茶業 チーム	-	H31～ R03	県単	
	3)	イモ類の産地拡大に向けた省力化	葉根菜 類・茶業 チーム	-	H31～ R03	県単	
			市場動向に対応した輸出用かんしょ生産技術の確立				
			トマトの低コスト養液栽培システムの開発				
			農産物の栄養分・機能性成分の数値化				
	1)	大分県産夏秋野菜の栄養・機能性	土壌・環 境チーム	地域農業 振興課、 中部振興 局、豊肥 振興局、 西部振興 局、果菜 類チーム	H29～31	県単	
			高付価値な内容成分を有する輸出用農産物技術の開発				
2 ブランド化のための技術開発							
			いちごの県オリジナル品種の品種登録と普及				
			いちごの県オリジナル品種の育成				
	1)	イチゴ育種技術の改善と新品種候補	果菜類 チーム	-	H31～ R03	県単	
			トマト新品種の選定				
			糖度判定技術の迅速化				
			農産物の機能性成分評価に関する研究				
			新需要に対応した品種選抜と加工技術の開発				
	1)	カンショの品種選定	葉根菜 類・茶業 チーム	農研機構	長期	県単	

農業研究部（2／3）

3 マーケットインの商品（もの）づくりを加速のための技術開発					
<ul style="list-style-type: none"> ・ かねぎの冬期増収に向けた栽培技術の開発 ・ 調製機械の効率化のための分析・改良提案 ・ 市場動向に対応したかねぎの夏秋期安定出荷技術の確立 					
1)	大苗利用による根深ネギの夏越し及び初夏どり作型の生産安定技術の確立	葉根菜類・茶業チーム	-	H30～R02	県単
<ul style="list-style-type: none"> ・ ドリンク用茶の安定収量確保のため二番茶の収穫適期判定技術の開発 ・ かねぎの土壌病害の防除技術の確立 ・ 夏秋トマトのすすかび病及び線虫類の防除対策 ・ 農産物の安全安心に関する研究（薬剤抵抗性害虫の天敵利用技術） 					
1)	県オリジナルイチゴ品種「大分6号」のハダニ類を中心とした主要病害虫の防除体系構築	病害虫対策チーム	地域農業振興課、各振興局	H31～R03	県単
2)	夏秋ピーマンにおける天敵を主体とした害虫防除体系の構築	病害虫対策チーム	中部振興局、豊肥振興局	H30～R02	県単
3)	平坦地に適した根深ネギべと病の防除技術の確立	病害虫対策チーム	北部振興局	H30～R02	県単
4)	稲こうじ病、いもち病に対する新たな防除体系の構築	病害虫対策チーム	各振興局、土壌・環境チーム	H29～31	県単
<ul style="list-style-type: none"> ・ シソモザイク病及びさび症の防除体系の確立 ・ 茶の高品質省力栽培・加工技術の開発 					
1)	拡大するドリンク茶・点茶碾茶需要に対応した茶生産技術の確立	葉根菜類・茶業チーム	-	R01～03	県単
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新資材による低コスト施肥技術の開発 					
1)	低コストな混合堆肥複合肥料の開発	土壌・環境チーム	(株)菱東肥料、水田農業グループ	R01～03	県単
<ul style="list-style-type: none"> ・ IPM管理技術を活用した防除体系の確立 ・ 有機農業の支援 					
4 力強い担い手を育成するための技術開発					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 加工・業務用野菜栽培技術の確立 ・ 果菜類の安定生産技術の開発 					
1)	「赤採りトマト」の周年供給体制の確立	果菜類チーム	豊肥振興局、西部振興局、土壌・環境チーム	H29～31	県単
2)	作業管理システム及び生育予測を核とした大規模施設園芸発展スキームの構築	果菜類チーム	西部振興局	H28～31	国庫
<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏秋ピーマンの省力・安定生産技術の開発 					
1)	夏秋ピーマンの省力多収栽培技術の確立	果菜類チーム	-	H30～32	県単

農業研究部（3／3）

	・ 低コスト耐候型施設の開発				
	・ 養液栽培における生産安定技術の開発				
	・ 大規模茶園における安定多収穫栽培と品質安定技術（効率的施肥）の開発				
	・ 高品質・安定生産・省力化のための茶園管理技術の開発				
	1) 茶試験圃場の育成	葉根菜類・茶業チーム	農研機構	長期	県単、一部国庫
5	地域資源の活用と環境対策のための技術開発				
	・ 環境に優しく地域資源を活用した農業生産技術の開発				
	1) 農業分野における転炉スラグの活用拡大に関する技術構築	土壌・環境チーム	豊肥振興局	H31～R03	県単
II	研究を支える基礎調査と優良種苗管理				
	・ 農業情報の提供（生育状況、気象データ）				
	1) 農業情報の提供（気象データ）	企画指導担当	水田農業グループ、果樹グループ、花きグループ	長期	県単
	・ 土壌情報の活用				
	1) 農地土壌炭素貯留等基礎調査事業	土壌・環境チーム	各振興局	H25～R02	国庫
	・ 土壌肥料検査業務				
	1) 土壌肥料検査業務	土壌・環境チーム	-	長期	県単、一部委託
	・ 土壌環境調査の実施による企業参入支援並びにほ場整備等の支援				
	1) 土壌環境調査の実施による企業参入支援並びにほ場整備等の支援	土壌・環境チーム	-	長期	県単、一部委託
	・ 病害虫発生予察情報（普通作・野菜・果樹・茶）				
	1) 病害虫発生予察事業	病害虫対策チーム	-	長期	県単、一部国庫
	2) チャの主要病害虫防除対策	葉根菜類・茶業チーム	-	長期	県単、一部委託
	・ ウィルスフリー苗の作出				
	1) イチゴのウィルスフリー苗の育成	果菜類チーム	-	長期	県単
	2) カンショの茎頂培養によるウィルスフリー苗育成	葉根菜類・茶業チーム	-	長期	県単
	・ 地域固有の動植物の保存				
	1) 地域固有の動植物の保存	企画指導担当	各振興局	長期	県単
	・ 委託薬剤試験				
	1) 安全生産技術に関する研究	病害虫対策チーム	各振興局	長期	県単、一部委託
	・ マイナー作物農薬残留調査				
	1) 農薬残留特殊調査（マイナー作物への登録拡大）	病害虫対策チーム	大分県薬剤師、東部振興局、北部振興局	H28～30	県単、一部国庫

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
大分県農林水産研究指導センター研究報告 (農業研究部編)	R01.05.	32	80
平成30年度植物防疫事業成績書	R02.02.	63	200
令和元年度植物防疫事業成績書	R02.03.	71	200
平成30年度農業研究部試験研究成績書	R02.03.	342	60

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載頁
鈴木 智範	Occurrence of <i>Meloidogyne microcephala</i> in Oita	Nematological Research	49	13
鈴木 智範	トマトの上手なネコブセンチュウ対策	技術と普及[2019]	7月号	56-57
鈴木 智範	イネ稲こうじ病に関する省力的防除方法の検討	九州病害虫研究会 報	65	106
鈴木 智範	大分県におけるイネ稲こうじ病の発生状況	日本植物病理学会 報	85(1)	92
山田 晴夫	温泉熱を活用したパブリカの周年出荷体系	施設と園芸	187号	56

（3）研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R1.8.29	第82回（令和元年度）九州農業研究発表会	山賀陽子・山田晴夫	イチゴ「さがほのか」の育苗時の鉢上げ時期と施肥がランナー発生に及ぼす影響
R1.8.29	第82回（令和元年度）九州農業研究発表会	小野紘平・佐藤如・山田晴夫	「恋みのり」の果実特性について
R1.8.29	第82回（令和元年度）九州農業研究発表会	壇谷博一・山賀陽子・山田晴夫	パブリカ機能成分の品種別時期別推移（夏秋作）
R1.8.29	第82回（令和元年度）九州農業研究発表会	三宅美穂・大坪亮介	ハウスの換気の有無が冬ニラの生育に及ぼす影響
R1.11.14	第82回（令和元年度）九州農業研究発表会	加藤貴浩・神崎悠梨・藤谷渉	大分県産夏秋ピーマンにおける遮光資材および光反射資材設置の有無による栄養・機能性成分変動実態の解明
R1.11.14	第82回（令和元年度）九州農業研究発表会	藤谷渉・玉井光秀	小ネギ栽培における緩効性肥料を活用した環境負荷の軽減
R1.11.14	第82回（令和元年度）九州農業研究発表会	山野秀真・下村真一郎・玉井光秀	転炉スラグを用いた土壌酸度矯正による白ネギ土壌病害抑制効果の検討（ポスター）
R1.11.14	第82回（令和元年度）九州農業研究発表会	神崎悠梨・加藤貴浩	夏秋トマトのアスコルビン酸含量とβ-カロテン含量の推移（ポスター）
R2.1.22	令和元年度 果樹茶業研究会 茶業研究会	村上圭	有機碾茶安定生産技術 長期被覆と有機質肥料利用による技術確立
R2.1.30	九州病害虫研究会第99回研究発表会	鈴木智範・山野秀真・下村真一郎・佐藤通浩	黒ボク土における転炉スラグと箱粒剤の組合せによるイネ稲こうじ病の防除効果と収量品質について
R2.1.30	九州病害虫研究会第99回研究発表会	岡本潤・田中啓二郎	<i>Alternaria dauci</i> によるコリアンダー褐斑病（仮称）の発生とその宿主および有効薬剤
R2.1.30	令和元年度 九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜成績検討会	山田晴夫	排水計測装置によるイチゴ高設栽培のかん水施肥管理技術の確立
R2.1.30	令和元年度 九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜成績検討会	池永重希子	イチゴ「大分6号」の摘果および芽数管理が収量および品質に及ぼす影響
R2.1.30	令和元年度 九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜成績検討会	山賀陽子	イチゴ「大分6号」と「さがほのか」における育苗方法がランナー・小苗発生に及ぼす影響
R2.1.30	令和元年度 九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜成績検討会	田中とも子	イチゴ県間連携育種の取組経過と今後の方向性
R2.1.30	令和元年度 九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜成績検討会	大塚美希	日射+飽差センサを活用したかん水施肥技術による夏秋トマトの収量・品質の向上
R2.1.30	令和元年度 九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜成績検討会	後藤祥太郎	水田転換畑におけるさといも全期間マルチ栽培の品種の検討
R2.3.22	園芸学会令和2年度春季大会	大坪亮介	長尺容器を利用した小ネギ栽培方法の検討

（4）研究成果発表会

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
令和年度第2回農林水産研究指導センター研究状況報告会	R1.12.20	県庁91会議室	1	44

4. 研究成果の普及、技術指導

（1）講習会、研修会の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R1.5.28	社会科学学習	西の台小学校	160	西の台小学校
R1.5.30 R1.5.31	革新的技術開発・緊急展開事業現地研修会	中津市	40	革新的技術開発・緊急展開事業コンソーシアム（九大他）
R1.6.19	土づくり研修会	東部振興局	40	東部振興局生産流通部
R1.6.26	果樹園土壌調査研修	日田市	10	西部振興局生産流通部
R1.6.28	農業農村若手職員研修会	県庁	50	農村整備計画課
R1.7.19	果樹課題解決研修会	宇佐センター	20	地域農業振興課
R1.7.25	水田畑地化現地研修会	日田市	10	西部振興局生産流通部
R1.8.1	ベリーツ研修会	大分市	48	中部振興局
R1.8.22	小ネギ施肥・土壌改良資材研修	北部振興局	10	北部振興局生産流通部
R1.10.23	土づくり研修会	県庁	21	地域農業振興課
R1.10.29	有機農業者養成講座	大分市東部公民館	15	おおいた有機農業推進ネットワーク
R1.11.18	ベリーツ全体研修会	別府市	95	大分県いちご販売強化対策協議会
R1.11.28	こねぎ研修会	国東市役所	20	国東市農業公社
R1.12.5	ドローン研修会	豊後大野市	5	地域農業振興課
R1.12.5	ベリーツ研修会	農業研究部	10	豊肥振興局
R1.12.9	JA豊肥トマト部会研修会	竹田市	55	JA豊肥トマト部会
R1.12.11	大分白ねぎスマート農業実証コンソーシアム現地検討会	豊後大野市	20	全農大分県本部
R1.12.26	ベリーツ現地検討会	大分市	45	中部局、中西部イチゴ部会
R2.2.6	転炉スラグによる土壌酸度改良対策研修会	竹田市	41	農業研究部
R2.2.26	有機栽培茶生産研修会	場内	50	地域農業振興課

（2）受入研修

① 長期研修者受け入れ

該当なし

② 生産者、団体職員、普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	10	104
団体等職員	9	72
普及指導員	7	86
学生	5	61
児童・生徒	0	0
海外からの視察者	0	0
その他	6	47
計	37	370

※大学
※小中高校

（3）指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
<p>‘ベリーツ’に対するIPM及びスマート農業技術の現地移転</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アブラムシ対策のために、コレナバンカー（ナケルアブラバチ、コレマンアブラバチ）の普及を図る。併せて、他の微小害虫に対するIPM技術の導入を図る。 ・効率的な肥培管理を図るため、モニタリング装置の活用方策を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハダニ対策として、ミコハンカーを10月に3ヶ所設置し実証した。 ・アブラムシ対策としてコレナバンカーを10、11、3月に3ヶ所設置し実証した。 ・アザミウマ対策としてアカメを2月に3カ所に設置し、導入が遅れた1カ所については3月に追加放飼し実証した。 ・モニタリング結果は、年内分を集約し、2ヶ年分の比較検討を行った。
<p>根深ネギ大苗定植技術</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大苗生産技術の効率化と育苗時の精密な灌水の実施を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現地1カ所で50a以上の実証を行い、技術導入ほ場での単収3,000kg/10a以上を目標に取り組んだ。
<p>ドリンク茶栽培における収量・品質向上のための総合的管理技術</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ドリンク茶法人における重点指導地区における品質適合率の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人工衛星sentinel2の周期に合わせて生葉成分や収量調査を実施、ドリンク茶法人へ結果をフィードバックし指導した。